



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

平成27年7月30日

上場会社名 オムロン株式会社

上場取引所 東証 市場第一部

コード番号 6645

URL <http://www.omron.co.jp/>

代表者 役職名 代表取締役社長  
氏名山田義仁

問合せ先責任者 役職名 執行役員 グローバル理財本部長  
氏名 大上高充

TEL (075)344-7070

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無 (投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	205,394	4.1	16,360	△17.4	16,912	△21.0	12,665	△18.3
27年3月期第1四半期	197,219	13.0	19,814	52.3	21,407	68.5	15,493	67.5

(注) 四半期包括利益 28年3月期第1四半期 21,963 百万円(204.0%) 27年3月期第1四半期 7,225 百万円(△63.1%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年3月期第1四半期	58	30	58	30
27年3月期第1四半期	70	40	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	711,528	513,996	511,513	71.9
27年3月期	711,011	492,094	489,769	68.9

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計					
	円	銭	円	銭	円	銭				
27年3月期	-	-	31	00	-	-	40	00	71	00
28年3月期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28年3月期(予想)	-	-	-	-	-	-	-	-	92	00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

(注2) 平成28年3月期の第2四半期末および期末の配当金は未定です。

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	900,000	6.2	90,000	3.9	89,000	1.8	66,500	7.0	306	10

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

(注2) 平成28年3月期より第2四半期連結累計期間については、業績予想の開示を行いません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・無  
 新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用： 有・無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有・無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期1Q	217,397,872株	27年3月期	217,397,872株
28年3月期1Q	146,000株	27年3月期	144,467株
28年3月期1Q	217,252,652株	27年3月期1Q	220,086,753株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える重要な要因には、(a) 当社グループの事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、(b) 当社グループ製品・サービスに対する需要動向、(c) 新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、(d) 資金調達環境の大幅な変動、(e) 他社との提携・協力関係、(f) 為替・株式市場の動向、(g) 事故・震災などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 6「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
- 当社は、米国会計基準に基づき連結損益計算書の表示形式としてシングルステップ方式（段階利益を表示しない方式）を採用していますが、他社との比較可能性を高めるため、当決算短信の「営業利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」を控除したものを表示しています。
- 平成28年3月期の第2四半期末・期末配当金につきましては、当社業績予想の確実性が高まった時点で決定し開示いたします。時期としては第2四半期末の配当金については遅くとも平成27年10月を、期末の配当金については平成28年4月を予定しています。
- 当社は、平成27年7月30日（木）に投資家向け説明会を開催する予定です。その模様および説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(注) 事業の種類別セグメントの名称を次のとおり略して記載しています。

- IAB： インダストリアルオートメーションビジネス（制御機器事業）  
 EMC： エレクトロニック&メカニカルコンポーネツツビジネス（電子部品事業）  
 AEC： オートモティブ・エレクトロニックコンポーネツツビジネス（車載事業）  
 SSB： ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネス（社会システム事業）  
 HCB： ヘルスケアビジネス（ヘルスケア事業）  
 その他： 環境事業本部、電子機器事業本部、マイクロデバイス事業推進本部、バックライト事業など（本社直轄事業）

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
(3) 会計方針の変更	P. 6
3. 四半期連結財務諸表	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 12
(セグメント情報等)	P. 12
4. 補足情報	P. 14
(1) 連結業績概要	P. 14
(2) 連結セグメント別売上高実績	P. 15
(3) 連結セグメント別営業利益実績	P. 15
(4) 期中平均レート実績	P. 15
(5) 連結セグメント別売上高予想	P. 16
(6) 連結セグメント別営業利益予想	P. 16
(7) 期中平均レート予想	P. 16

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ○ 全般的概況

当第 1 四半期連結累計期間（平成 27 年 4 月～6 月）における当社グループの業績は、前年同期比で増収減益となりました。I A B（制御機器事業）や H C B（ヘルスケア事業）が好調に推移し、さらに為替の影響も加わり前年同期比で売上高は増加しました。しかし、成長のための投資を拡大したことから、営業利益は前年同期比で減少しました。

当第 1 四半期連結累計期間の経済環境認識は以下のとおりです。

#### <各地域の経済・市場概況>

- 日本： 設備投資や雇用情勢はゆるやかな回復が継続
- 米州： 北米において雇用・所得環境の改善による個人消費回復や企業活動拡大などで堅調
- 欧州： ロシアなどで景気低迷はあるが、ゆるやかな回復が継続
- 中華圏： 内需が低調に推移し、経済成長率が鈍化
- アジア： 韓国の景気が回復するなど、総じて需要は堅調

#### <当社グループの主な関連市場の状況>

- 自動車関連： 国内の部品需要は軽自動車の販売減により低調、欧米では堅調
- 半導体関連： スマートフォンなどの需要が堅調に推移し、設備投資需要は堅調
- 工作機械関連： 国内・海外の設備投資需要は回復
- 家電・電子部品関連： 設備投資需要は堅調、部品需要は新興国などで堅調
- 健康医療機器関連： ロシアは景気低迷により低調、その他新興国は堅調

また、当社グループは当期の年度方針を「Accelerate EARTH-1～“自走的な成長のためのエンジンづくりの加速と成果の追求”～」としています。具体的には、①EARTH-1 STAGE 業績目標の 1 年前倒しでの達成、②「稼ぐ力（売上総利益率）」の更なる向上への不断のチャレンジ、③全事業セグメントでの増収増益、を目指し施策を実行しています。

当第 1 四半期連結累計期間の業績結果は以下のとおりです。

	平成 27 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	平成 28 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	増減率
売 上 高	1,972 億 19 百万円	2,053 億 94 百万円	+4.1%
営 業 利 益	198 億 14 百万円	163 億 60 百万円	△17.4%
税引前四半期純利益	214 億 7 百万円	169 億 12 百万円	△21.0%
当社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	154 億 93 百万円	126 億 65 百万円	△18.3%
米ドル平均レート	102.0 円	121.4 円	+19.4 円
ユーロ平均レート	139.9 円	133.2 円	△6.7 円

○ セグメント別の状況

**I A B (制御機器事業)**

		平成 27 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	平成 28 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	288 億 69 百万円	310 億 7 百万円	+7.4%
	海外	493 億 79 百万円	546 億 1 百万円	+10.6%
	合計	782 億 48 百万円	856 億 8 百万円	+9.4%
営業利益		119 億 7 百万円	141 億 1 百万円	+18.4%

<国内売上高の状況>

電子部品関連業界などでの設備投資需要が堅調に推移し、当期間の国内売上高は前年同期比で増加しました。

<海外売上高の状況>

米州では、主に石油関連事業の需要が減少し低調に推移しました。欧州では、輸出企業の需要が堅調に推移しました。中華圏では、電子部品関連業界において着実に顧客需要を取り込み堅調に推移したものの、市況の減速の影響により総じて需要は低調に推移しました。アジアでは、設備投資需要が堅調に推移しました。これらの結果に為替の影響が加わり、当期間の海外売上高は前年同期比で増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加などにより、営業利益は前年同期比で増加しました。

**EMC (電子部品事業)**

		平成 27 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	平成 28 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	64 億 42 百万円	60 億 22 百万円	△6.5%
	海外	198 億 70 百万円	202 億 20 百万円	+1.8%
	合計	263 億 12 百万円	262 億 42 百万円	△0.3%
営業利益		23 億 82 百万円	22 億 24 百万円	△6.6%

<国内売上高の状況>

業務民生業界における需要は堅調に推移しましたが、自動車関連業界は軽自動車の増税の影響を受けて需要は低調に推移しました。これらの結果、当期間の国内売上高は前年同期比で減少しました。

<海外売上高の状況>

欧米では、自動車関連業界が堅調に推移しました。中華圏では、業務民生業界の需要が住宅着工件数の減少により低調に推移し、自動車関連業界の需要も顧客の在庫調整により低調に推移しました。これらの結果に為替の影響が加わり、当期間の海外売上高は前年同期比で横ばいとなりました。

<営業利益の状況>

国内売上高の減少などにより、営業利益は前年同期比で減少しました。

### A E C (車載事業)

		平成 27 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	平成 28 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	67 億 91 百万円	49 億 72 百万円	△26.8%
	海外	259 億 87 百万円	299 億 35 百万円	+15.2%
	合計	327 億 78 百万円	349 億 7 百万円	+6.5%
営業利益		22 億 75 百万円	17 億 76 百万円	△21.9%

#### <国内売上高の状況>

軽自動車の増税の影響による自動車販売台数の減少などにより、当期間の国内売上高は前年同期比で減少しました。

#### <海外売上高の状況>

米州では、好調な米国経済を背景に需要が大幅に拡大しました。中華圏では、顧客の在庫調整により需要が減少しました。これらの結果に為替の影響が加わり、当期間の海外売上高は前年同期比で増加しました。

#### <営業利益の状況>

国内売上高の減少などにより、営業利益は前年同期比で減少しました。

### S S B (社会システム事業)

		平成 27 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	平成 28 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高		131 億 30 百万円	129 億 48 百万円	△1.4%
営業利益 (△損失)		△14 億 78 百万円	△20 億 67 百万円	—

#### <駅務システム事業の売上高の状況>

駅務機器に対する設備投資の更新需要が堅調に推移し、当期間の売上高は前年同期比で大きく増加しました。

#### <交通管制・道路管理システム事業、他の売上高の状況>

高速道路事業者における安心安全に関連する需要が堅調に推移し、当期間の売上高は前年同期比で増加しました。

#### <環境ソリューション事業の売上高の状況>

太陽光発電関連市場における系統連系手続きの遅れなどの影響で需要が低調に推移し、当期間の売上高は前年同期比で大きく減少しました。

#### <営業利益の状況>

売上高の減少などにより、営業利益は前年同期比で損失額が増加しました。

## HCB (ヘルスケア事業)

		平成 27 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	平成 28 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	65 億 86 百万円	66 億 87 百万円	+1.5%
	海外	154 億 89 百万円	187 億 74 百万円	+21.2%
	合計	220 億 75 百万円	254 億 61 百万円	+15.3%
営業利益		18 億 98 百万円	19 億 33 百万円	+1.8%

### <国内売上高の状況>

家庭向け健康医療機器については、都市部での海外観光客向け商品の需要が増加している一方で、郊外店舗での需要は低迷しました。また、医療機関向け機器については、需要は堅調に推移しました。それらの結果、当期間の国内売上高は前年同期比で横ばいとなりました。

### <海外売上高の状況>

欧州では、ロシアおよび周辺国での政情不安の影響を受けて需要は低調に推移しました。米州では血圧計の新商品投入などにより需要が堅調に推移しました。中国・インドを始めとするアジア圏の新興国では、健康意識の高まりが継続し需要は好調に推移しました。それらの結果に為替の影響も加わり、当期間の海外売上高は前年同期比で大きく増加しました。

### <営業利益の状況>

売上高は増加しましたが、為替の影響などにより営業利益は前年同期比で横ばいとなりました。

## その他事業 (本社直轄事業)

		平成 27 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	平成 28 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高		233 億 55 百万円	191 億 61 百万円	△18.0%
営業利益		37 億 97 百万円	2 億 28 百万円	△94.0%

その他事業では、新規事業の探索・育成と、社内カンパニーに属さない事業の育成・強化を本社直轄で行っています。

### <環境事業の売上高の状況>

太陽光発電関連市場における系統連系手続きの遅れなどの影響で需要が低調に推移し、当期間の売上高は前年同期比で大きく減少しました。

### <電子機器事業の売上高の状況>

無停電電源装置、産業用組み込みコンピュータおよび電子機器の開発・生産受託サービスの需要が好調に推移し、当期間の売上高は前年同期比で増加しました。

### <マイクロデバイス事業の売上高の状況>

スマートフォン向けマイクロフォンの需要の増加により、当期間の売上高は前年同期比で増加しました。

### <バックライト事業の売上高の状況>

中華圏のスマートフォン市場での需要が減少し、当期間の売上高は前年同期比で減少しました。

### <営業利益の状況>

売上高の減少などにより、営業利益は前年同期比で大きく減少しました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第 1 四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べ、たな卸資産の増加などにより 5 億 17 百万円増加して、7,115 億 28 百万円となりました。また、負債の部は未払費用などの減少により、前連結会計年度末に比べ 213 億 85 百万円減少して、1,975 億 32 百万円となりました。純資産の部は当社株主に帰属する四半期純利益の計上に加え、為替換算調整額の変動などにより、前連結会計年度末に比べ 219 億 2 百万円増加して、5,139 億 96 百万円となりました。株主資本比率は前連結会計年度末の 68.9%から 71.9%となりました。

当第 1 四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローの状況は、非支配持分控除前四半期純利益の計上、売上債権の回収により、154 億 92 百万円の収入（前年同期比 59 億 65 百万円の収入減）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備等への積極的な投資を実行し、76 億 51 百万円の支出（前年同期比 50 億 67 百万円の支出増）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いなどにより、90 億 82 百万円の支出（前年同期比 24 億 58 百万円の支出増）となりました。以上より、現金及び現金同等物の当第 1 四半期連結会計期間末残高は前連結会計年度末に比べ 4 億 48 百万円増加し、1,030 億 70 百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成 27 年 4 月 27 日発表のとおりとし、変更いたしません。なお、第 2 四半期以降の業績予想の前提となる為替レートは、1 米ドル 115 円、1 ユーロ 130 円です。

業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更

該当事項はありません。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成27年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
( 資 産 の 部 )				
流 動 資 産	434,096	61.1	430,177	60.5
現金及び現金同等物	102,622		103,070	
受取手形及び売掛金	178,775		166,720	
貸倒引当金	△ 1,624		△ 1,648	
たな卸資産	116,020		122,368	
繰延税金	19,941		20,161	
その他の流動資産	18,362		19,506	
有 形 固 定 資 産	151,452	21.3	153,162	21.5
土地	26,721		26,938	
建物及び構築物	147,120		150,869	
機械その他	202,149		206,937	
建設仮勘定	6,619		6,358	
減価償却累計額	△ 231,157		△ 237,940	
投 資 そ の 他 の 資 産	125,463	17.6	128,189	18.0
関連会社に対する 投資及び貸付金	24,318		24,312	
投資有価証券	57,106		61,075	
施設借用保証金	6,971		6,968	
繰延税金	6,366		5,233	
その他の資産	30,702		30,601	
資 産 合 計	711,011	100.0	711,528	100.0

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成27年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
		%		%
( 負 債 の 部 )				
流 動 負 債	176,762	24.9	154,579	21.7
支払手形及び買掛金・未払金	92,702		86,877	
未 払 費 用	41,942		33,014	
未 払 税 金	3,680		1,906	
そ の 他 の 流 動 負 債	38,438		32,782	
繰 延 税 金	697	0.1	893	0.1
退 職 給 付 引 当 金	30,393	4.3	30,546	4.3
そ の 他 の 固 定 負 債	11,065	1.5	11,514	1.7
負債の部合計	218,917	30.8	197,532	27.8
( 純 資 産 の 部 )				
株 主 資 本	489,769	68.9	511,513	71.9
資 本 金	64,100	9.0	64,100	9.0
資 本 剰 余 金	99,070	13.9	99,070	13.9
利 益 準 備 金	13,403	1.9	14,798	2.1
そ の 他 の 剰 余 金	301,174	42.4	312,444	43.9
その他の包括利益(△損失)累計額	12,489	1.8	21,577	3.0
為 替 換 算 調 整 額	26,313		33,006	
退 職 年 金 債 務 調 整 額	△ 36,486		△ 36,466	
売却可能有価証券未実現損益	22,478		25,187	
デリバティブ純損益	184		△ 150	
自 己 株 式	△ 467	△ 0.1	△ 476	△ 0.0
非 支 配 持 分	2,325	0.3	2,483	0.3
純資産の部合計	492,094	69.2	513,996	72.2
負債及び純資産合計	711,011	100.0	711,528	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	期 別		前第1四半期連結累計期間 〔自平成26年4月1日 至平成26年6月30日〕		当第1四半期連結累計期間 〔自平成27年4月1日 至平成27年6月30日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
売 上 高	197,219	100.0	205,394	100.0		
売 上 原 価	118,946	60.3	126,109	61.4		
売 上 総 利 益	78,273	39.7	79,285	38.6		
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	46,957	23.9	50,565	24.6		
試 験 研 究 開 発 費	11,502	5.8	12,360	6.0		
営 業 利 益	19,814	10.0	16,360	8.0		
そ の 他 収 益 - 純 額 -	△ 1,593	△ 0.9	△ 552	△ 0.2		
税 引 前 四 半 期 純 利 益	21,407	10.9	16,912	8.2		
法 人 税 等	6,422	3.3	4,816	2.3		
持 分 法 投 資 損 益 ( △ 利 益 )	△ 604	△ 0.3	△ 735	△ 0.3		
非 支 配 持 分 控 除 前 四 半 期 純 利 益	15,589	7.9	12,831	6.2		
非 支 配 持 分 帰 属 損 益	96	0.0	166	0.0		
当 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	15,493	7.9	12,665	6.2		

(四半期連結包括損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
		金 額	金 額
非支配持分控除前 四半期純利益		15,589	12,831
その他の包括利益－税効果考慮後			
為替換算調整額		△ 3,046	6,737
退職年金債務調整額		353	20
売却可能有価証券未実現損益		△ 5,904	2,709
デリバティブ純損益		233	△ 334
その他の包括利益(△損失)計		△ 8,364	9,132
四半期包括利益		7,225	21,963
(内訳)			
非支配持分に帰属する四半期包括利益		61	210
当社株主に帰属する四半期包括利益		7,164	21,753

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間	
			〔自平成26年4月1日〕 〔至平成26年6月30日〕		〔自平成27年4月1日〕 〔至平成27年6月30日〕	
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>						
1. 非支配持分控除前四半期純利益				15,589		12,831
2. 営業活動によるキャッシュ・フローと 非支配持分控除前四半期純利益の調整						
(1) 減価償却費			6,464		7,476	
(2) 固定資産除売却損(純額)			2,576		60	
(3) 投資有価証券売却益(純額)	△		3,976		△ 65	
(4) 投資有価証券の減損			—		5	
(5) 退職給付引当金	△		1,067		188	
(6) 繰延税金			930		△ 34	
(7) 持分法投資損益(△利益)	△		604		△ 735	
(8) 資産・負債の増減						
① 受取手形及び売掛金の減少			12,593		14,717	
② たな卸資産の増加	△		6,123		△ 4,381	
③ その他の資産の減少(△増加)			1,549		△ 1,240	
④ 支払手形及び買掛金・未払金の減少	△		1,986		△ 5,651	
⑤ 未払税金の減少	△		2,714		△ 1,865	
⑥ 未払費用及びその他流動負債の減少	△		2,001		△ 6,726	
(9) その他(純額)			227		912	
営業活動によるキャッシュ・フロー				5,868		2,661
				21,457		15,492
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>						
1. 投資有価証券の売却及び償還による収入			4,418		79	
2. 投資有価証券の取得	△		15		△ 15	
3. 資本的支出	△		7,148		△ 7,897	
4. 施設借用保証金の減少(純額)			19		20	
5. 有形固定資産の売却による収入			172		159	
6. 関連会社に対する投資及び貸付金の増加	△		30		△ 20	
7. その他(純額)			—		23	
投資活動によるキャッシュ・フロー				△ 2,584		△ 7,651
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>						
1. 短期債務の減少(純額)	△		457		—	
2. 親会社の支払配当金	△		6,163		△ 8,690	
3. 非支配株主への支払配当金			—		△ 52	
4. 自己株式の取得	△		19		△ 9	
5. その他(純額)			15		△ 331	
財務活動によるキャッシュ・フロー				△ 6,624		△ 9,082
<b>IV 換算レート変動の影響</b>				△ 543		1,689
現金及び現金同等物の増減額				11,706		448
期首現金及び現金同等物残高				90,251		102,622
四半期末現金及び現金同等物残高				101,957		103,070
<b>営業活動によるキャッシュ・フローの追記</b>						
1. 支払利息の支払額			53		43	
2. 法人税等の支払額			8,248		6,624	
<b>キャッシュ・フローを伴わない投資及び財務活動の追記</b>						
1. 資本的支出に関連する債務			494		1,224	

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

(単位:百万円)

	I A B	EMC	A E C	S S B	H C B	その他	計	消去調整他	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	78,248	26,312	32,778	13,130	22,075	23,355	195,898	1,321	197,219
(2)セグメント間の内部売上高	1,398	11,818	293	994	37	6,078	20,618	△ 20,618	—
計	79,646	38,130	33,071	14,124	22,112	29,433	216,516	△ 19,297	197,219
営業費用	67,739	35,748	30,796	15,602	20,214	25,636	195,735	△ 18,330	177,405
営業利益(△損失)	11,907	2,382	2,275	△ 1,478	1,898	3,797	20,781	△ 967	19,814

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

(単位:百万円)

	I A B	EMC	A E C	S S B	H C B	その他	計	消去調整他	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	85,608	26,242	34,907	12,948	25,461	19,161	204,327	1,067	205,394
(2)セグメント間の内部売上高	1,401	12,245	131	953	86	4,593	19,409	△ 19,409	—
計	87,009	38,487	35,038	13,901	25,547	23,754	223,736	△ 18,342	205,394
営業費用	72,908	36,263	33,262	15,968	23,614	23,526	205,541	△ 16,507	189,034
営業利益(△損失)	14,101	2,224	1,776	△ 2,067	1,933	228	18,195	△ 1,835	16,360

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア 他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	78,838	27,528	26,316	45,025	19,512	197,219	—	197,219
(2)セグメント間の内部売上高	42,648	791	432	20,420	5,673	69,964	△ 69,964	—
計	121,486	28,319	26,748	65,445	25,185	267,183	△ 69,964	197,219
営業費用	109,658	27,728	25,978	59,795	22,720	245,879	△ 68,474	177,405
営業利益(△損失)	11,828	591	770	5,650	2,465	21,304	△ 1,490	19,814

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア 他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	77,318	34,276	25,602	45,221	22,977	205,394	—	205,394
(2)セグメント間の内部売上高	46,524	1,477	420	24,602	6,765	79,788	△ 79,788	—
計	123,842	35,753	26,022	69,823	29,742	285,182	△ 79,788	205,394
営業費用	115,889	35,060	24,384	65,004	27,359	267,696	△ 78,662	189,034
営業利益(△損失)	7,953	693	1,638	4,819	2,383	17,486	△ 1,126	16,360

(注) 日本以外の区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……………シンガポール・韓国・インド・豪州

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

(単位:百万円)

	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	28,199	27,280	45,195	20,285	120,959
II 連結売上高					197,219
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	14.3	13.8	22.9	10.3	61.3

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

(単位:百万円)

	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	34,916	26,670	45,550	24,504	131,640
II 連結売上高					205,394
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	17.0	13.0	22.2	11.9	64.1

(注) 各区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……………シンガポール・韓国・インド・豪州

## 4. 補足情報

### (1) 連結業績概要

		第1四半期累計			通期		
		平成27年3月期 第1四半期	平成28年3月期 第1四半期	前年同期比	平成27年3月期	平成28年3月期 予想	前期比
売上高	百万円	197,219	205,394	104.1%	847,252	900,000	106.2%
営業利益 (率)	百万円 (%)	19,814 (10.0%)	16,360 (8.0%)	82.6% (△2.0P)	86,591 (10.2%)	90,000 (10.0%)	103.9% (△0.2P)
税引前四半期(当期)純利益 (率)	百万円 (%)	21,407 (10.9%)	16,912 (8.2%)	79.0% (△2.7P)	87,388 (10.3%)	89,000 (9.9%)	101.8% (△0.4P)
当社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	15,493	12,665	81.7%	62,170	66,500	107.0%
1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	70円40銭	58円30銭	△12円10銭	283円89銭	306円10銭	+22円21銭
潜在株式調整後 1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	—	58円30銭	—	283円89銭		
総資産	百万円	643,041	711,528	110.7%	711,011		
株主資本 (株主資本比率)	百万円 (%)	437,655 (68.1%)	511,513 (71.9%)	116.9% (+3.8P)	489,769 (68.9%)		
1株当たり株主資本	円 銭	1,988円57銭	2,354円47銭	+365円90銭	2,254円37銭		
営業活動による キャッシュ・フロー	百万円	21,457	15,492	△5,965	77,057		
投資活動による キャッシュ・フロー	百万円	△2,584	△7,651	△5,067	△39,517		
財務活動による キャッシュ・フロー	百万円	△6,624	△9,082	△2,458	△29,303		
現金及び現金同等物 四半期末(期末)残高	百万円	101,957	103,070	+1,113	102,622		

(注) 連結子会社数は158社、持分法適用関連会社数は12社です。

(2) 連結セグメント別売上高実績

(単位：億円)

		平成27年3月期 第1四半期累計	平成28年3月期 第1四半期累計	前年同期比
I A B	国内	288	310	107.4%
	海外	494	546	110.6%
	計	782	856	109.4%
E M C	国内	64	60	93.5%
	海外	199	202	101.8%
	計	263	262	99.7%
A E C	国内	68	50	73.2%
	海外	260	299	115.2%
	計	328	349	106.5%
S S B	国内	131	123	93.7%
	海外	0	6	3022.7%
	計	131	129	98.6%
H C B	国内	66	67	101.5%
	海外	155	188	121.2%
	計	221	255	115.3%
その他	国内	133	117	87.6%
	海外	101	75	74.8%
	計	234	192	82.0%
消去調整他	国内	12	11	91.7%
	海外	1	0	62.3%
	計	13	11	80.8%
合 計	国内	762	738	96.7%
	海外	1,210	1,316	108.8%
	(海外比率)	(61.3%)	(64.1%)	(+2.8P)
	計	1,972	2,054	104.1%

(3) 連結セグメント別営業利益実績

(単位：億円)

	平成27年3月期 第1四半期累計	平成28年3月期 第1四半期累計	前年同期比
I A B	119	141	118.4%
E M C	24	22	93.4%
A E C	23	18	78.1%
S S B	△ 15	△ 21	—
H C B	19	19	101.8%
その他	38	2	6.0%
消去調整他	△ 10	△ 17	—
合計	198	164	82.6%

(4) 期中平均レート実績

(1外貨当たり 円)

	平成27年3月期 第1四半期累計	平成28年3月期 第1四半期累計	前年同期比
USD	102.0	121.4	+19.4
EUR	139.9	133.2	△6.7

(5) 連結セグメント別売上高予想

(単位：億円)

	平成27年3月期	平成28年3月期 予想	前期比
I A B	3,318	3,450	104.0%
E M C	1,039	1,090	104.9%
A E C	1,379	1,400	101.5%
S S B	804	850	105.7%
H C B	1,006	1,110	110.3%
その他	874	1,050	120.2%
消去調整他	53	50	96.6%
合計	8,473	9,000	106.2%

(6) 連結セグメント別営業利益予想

(単位：億円)

	平成27年3月期	平成28年3月期 予想	前期比
I A B	546	570	104.4%
E M C	102	112	110.1%
A E C	92	93	100.8%
S S B	50	55	110.2%
H C B	65	78	119.8%
その他	84	100	119.5%
消去調整他	△ 73	△ 108	—
合計	866	900	103.9%

(7) 期中平均レート予想

(1外貨当たり 円)

	平成27年3月期	平成28年3月期 予想	前期比
USD	110.0	117.0	+ 7.0
EUR	138.7	131.0	△ 7.7

(注) 平成28年3月期の予想における 第2四半期以降の業績予想の前提としている為替レートは 1米ドル115円、1ユーロ130円です。